

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

羅漢の里もみじまつり

11月9日(日)をメイン開催日として、11月8日(土)・16日(日)に「2025 羅漢の里もみじまつり」が開催されました。今年度も生徒会執行部がかがしを制作し、「かがしコンテスト」に出展しました。

今年は大阪万博が開催されたこともあり、万博キャラクターのミyakミyakをはじめ、今年の世相をあらわしたものを中心に、様々なアイデア作品が出品されていました。

相生高校生徒会、本校のキャラクターのあい丸を制作しました。他の学校行事の企画、運営や考査に向けた学習の合間に、みんなで協力して制作しました。



第47回 相高生フォーラム

11月12日(水)、第47回相高生フォーラムが開催されました。相高生フォーラムは、開校以来続く、歴史ある行事です。基準弁論者1名と1・2年の代表者各3名、計7名が人権に関するスピーチを行う人権に関する弁論大会です。今年も自分自身の身近な出来事から、世界のことまで、社会で問題になっていること等幅広く取り上げられ、生徒自身も真剣に考えさせられる内容でした。結果は、最優秀賞が2年3組鍋島巧光さん「SOSに『気づく』ことの重要性」、



最優秀賞の鍋島さん

優秀賞が1年5組村上響さん「支えられて生きるといふこと」



優秀賞の村上さん

賞でできなかった生徒のスピーチも含めて、自分自身ならどうするのかを考えさせられる素晴らしい「相高生フォーラム」でした。

また、フォーラム審査の待ち時間に、第43回西播磨高校生英語スピーチコンテストに出場した、2年3組和泉栳愛さん、2年4組橋爪郁馬さんの英語スピーチも披露してもらいました。

相高生フォーラムも英語スピーチコンテストも、それぞれが力を十分に発揮し、発表者の皆さんは、充実感に満ちており、歴史ある行事が引き継がれたことを感じさせる行事となりました。



神戸大学留学生と交流会

12月9日(火)、神戸大学にて留学生の方々と

との英語での交流会を行い、今年度は26名もの意欲的な生徒が参加しました。



グループに分かれての合計2時間わたる交流会では、留学生とお互いの文化について発表・質疑応答をし、

その後は自由にディスカッションしました。いつも聞いている英語よりもスピードの速いリスニングに苦戦しながらも、アメリカ、中国、インドネシアなど、様々な国出身の留学生の方々と楽しく会話をしている様子は、引率者としてとても頼もしく、そして嬉しく感じられました。あつという間の2時間でした。

交流会後のキャンパス見学では、眺めの良い百年記念館や歴史を感じる図書館などを見て回りました。



さわやか挨拶運動

12月12日(金)、日の出前の時間から、本校生徒会執行部の生徒が集まり始め、相生駅北側周辺のゴミ拾いを行いました。相生駅周辺を綺麗にすることができました。

その後、1年2組の生徒も合流し、相生駅北側、改札口前、相生駅南側に分かれて「さわやか挨拶運動」を行いました。寒さもだんだん厳しくなってきましたが、今日も元気な挨拶の声を響かせることができました。

